平成 26 年 3 月 31 日

日野市
情報セキュリティ統括責任者
荻原　弘次　様

株式会社ＪＭＣリスクソリューションズ

情報セキュリティ外部監査結果報告書

日野市情報セキュリティ外部監査（以下「本監査」という。）結果報告書は、本監査を実施した結果について報告するものです。

弊社は、平成 26 年 3 月 6 日（木）から平成 26 年 3 月 31 日（月）の期間に、「環境共生部環境保全課」、「まちづくり部産業振興課」、「まちづくり部新選組のふるさと歴史館」及び「農業委員会事務局」の４所属に対して、「ＪＩＳ Ｑ ２７００１：２００６」、「日野市情報セキュリティ対策基準」及び「地方公共団体における情報セキュリティ監査に関するガイドライン（総務省）」を基に策定された「日野市情報セキュリティ監査基準」に照らして本監査を実施しました。実施に当たっては、情報セキュリティポリシーの遵守状況及び有効性について、関係者に対するヒアリング、規程や記録のレビュー及び執務室等への検査によって確かめました。

また、「環境共生部緑と清流課」、「環境共生部下水道課」、「まちづくり部建築指導課」、「文化スポーツ課」及び「健康福祉部福祉政策課」の５所属に対しては昨年度の検出事項の改善状況を、「総務部情報システム課」に対しては昨年度の監査結果から全庁的な課題として提案された内容に対する改善状況を、それぞれ確認しました。

その結果を下記のとおりご報告します。

記

本監査の結果、昨年度と比べて課題となる検出事項が減少していることを確認しました。その要因として、市全体として求める対策を強化している点、所属においては情報セキュリティ対策について日ごろから意識するだけではなく概ね対策が実施されている点が挙げられます。また昨年度の検出事項への改善は、情報システム課が被監査部門を支援し、所属任せにしない姿勢が継続的に行われ大変評価できます。これにより、昨年度の監査で確認された問題点が放置されることなく、すべて対策に取組んでいる事が確認できました。

本監査で確認した特筆すべき事項が次の 3 点ありました。

１．情報漏えいの可能性を下げる取組み（リスク低減と回避）がありました。

個人情報を収集する際に意識して不要な情報を収集しない点（リスク低減）や不要となった時点で速やかに廃棄する点（リスク回避）など、情報漏えいの可能性を下げる活動が見られ、市として情報セキュリティ対策の意識が高まっていることが確認できました。

２. サポート終了予定のソフトウェアは、確認した範囲で入替え等の対応をしていました。

平成26年4月9日にサポートが終了するマイクロソフト社製ソフトウェアの利用状況について確認した結果、一部を除き対応済みとなっており、残りの一部も年度明け早々に対応済みとなる予定を確認しました。

３. 対策の強化が望まれる事項がありました。

今年度から新たな取組みとして職員の自己点検が開始されました。自己点検は毎月違う注意すべき点が掲示され、職員が自ら点検を実施する取組みがありました。

ただし、一部の所属では、点検結果を職員から確認するまでには至っていませんでした。

少ない負担で適切な対策を推進していくために、情報セキュリティ対策の現状を把握することは有効であるため、点検結果を確認しておくことが望まれます。また、この活動によって職員の意識向上も期待できます。

今後も継続的な改善活動によって、市全体の情報セキュリティレベルを向上させていくことを期待します。

以　上